

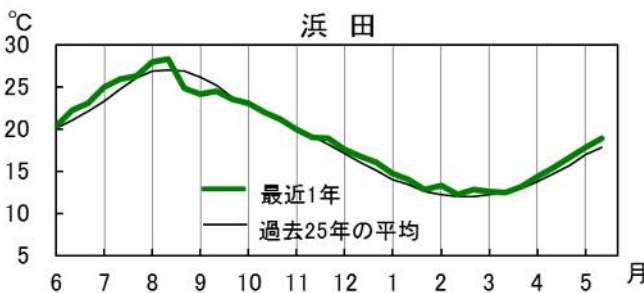


## 《4～5月の海況》

## 【沿岸定置水温】

浜田地区では、4月上旬、中旬、下旬ともに「やや高め」で推移し、5月に入り月上旬時点で「かなり高め」で経過しています。恵曇地区では、4月上旬、中旬、下旬ともに「やや高め」で推移し、5月に入り月上旬時点で「やや高め」で経過しています。

4月	月平均	平年差	評価
浜田	15.5℃	+0.7℃	やや高め
恵曇	15.4℃	+0.8℃	やや高め



## 《4月の漁況》

## 【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類、マアジ主体の漁況で、1統1航海当たりの漁獲量は36.1トンで平年を上回りました。魚種別の動向（総漁獲量）は、サバ類が459トンで平年の3.2倍となったものの、マアジが102トンで平年の約6割となりました。隠岐地区ではマアジ、マイワシ、サバ類主体の漁況で、1統1航海当たりの漁獲量は61.7トンで平年を下回りました。魚種別の動向（総漁獲量）は、マアジは2,542トンで平年の2.0倍、サバ類は1,049トンで平年の5.1倍となったものの、マイワシが1,401トンで平年の約3割となりました。

## 【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではスルメイカが漁獲の主体で（全体の92%）、1隻1航海当たりの漁獲量は90kgで平年を下回りました。一方、西郷地区（属人5トン以上）ではスルメイカが漁獲の主体で（全体の100%）、1隻1航海当たりの漁獲量は94kgで平年並みでした。

## 【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではキダイ、ケンサキイカ、アカムツを主体に、1統1航海当たりの漁獲量は14.3トンで平年を上回りました。魚種別の動向（総漁獲量）は、キダイは平年の1.3倍、ケンサキイカは平年の1.9倍、アカムツは平年の1.5倍の水揚げでした。その他、カワハギ類は平年の4倍、アンコウは平年の1.4倍の水揚げだった一方、ムシガレイは平年の7割、ソウハチは平年の9割の水揚げに留まりました。

## 【小型底びき網漁業】

大田地区（和江・久手）ではヒレグロ、ソウハチ、アナゴ類が主体の漁況で、1統1航海当たりの漁獲量は313kgで平年の8割の水揚げとなりました。魚種別の動向（総漁獲量）は、ソウハチは平年の3割、ヒレグロは平年の8割、アナゴ類が平年の9割の水揚げでした。その他の魚種ではアカガレイが平年の1.2倍、アンコウが平年の7割、キダイが平年の2.0倍、アカムツは平年の7割の水揚げでした。

## 【定置網漁業】

出雲地区ではブリ、マアジ、サワラ類主体の漁況で、1統当たりの漁獲量は25.9トンで平年を上回りました。魚種別の動向（総漁獲量）は、イサキが平年の4.3倍、ブリが平年の2.5倍、ケンサキイカが平年の1.8倍の漁獲量でした。石見地区ではサワラ類、マアジ主体の漁況で、1統当たりの漁獲量は29.8トンで平年を上回りました。魚種別の動向（総漁獲量）は、サワラ類が平年の10.4倍、サバ類が平年の2.5倍の漁獲量でした。隠岐地区ではブリ、マアジ主体の漁況で、1統当たりの漁獲量は34.7トンで平年並みでした。魚種別の動向（総漁獲量）は、ブリが平年の1.8倍、ヒラマサが平年の1.7倍の漁獲量でした。

## 【釣・縄】

出雲地区ではブリ、サワラ類が主に漁獲され、1隻1航海当たりの漁獲量は46kgで平年並みでした。石見地区ではブリ、ヒラマサが主に漁獲され、1隻1航海当たりの漁獲量は21kgで平年並みでした。隠岐地区ではブリ、カサゴ・メバル類が主に漁獲され、1隻1航海当たりの漁獲量は30kgで平年並みでした。

【平成 29 年 4 月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1 隻(統)1 航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	サバ類、マアジ	577 トン	220%	179%	36.1 トン	289%	234%	◎
	隠岐	マアジ、マイワシ、サバ類	6,049 トン	115%	71%	61.7 トン	137%	79%	○
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ、ケンサキイカ	2.3 トン	3%	5%	90kg	13%	20%	▲
	西郷	スルメイカ	3.5 トン	17%	19%	94kg	65%	75%	○
沖合 底びき網	浜田	キダイ、ケンサキイカ、アカムツ	316 トン	100%	111%	14.3 トン	113%	114%	◎
小型底びき 網	大田	ヒレグロ、ソウハチ、アナゴ類	271 トン	71%	63%	313kg	76%	76%	▲
定置網 (大型)	出雲	ブリ、マアジ、サワラ類	311 トン	146%	142%	25.9 トン	146%	149%	◎
	石見	サワラ類、マアジ	119 トン	272%	170%	29.8 トン	272%	158%	◎
	隠岐	ブリ、マアジ	104 トン	167%	109%	34.7 トン	167%	109%	○
釣り・縄	出雲	ブリ、サワラ類	70 トン	66%	71%	46kg	83%	100%	○
	石見	ブリ、ヒラマサ	25 トン	81%	53%	21kg	109%	85%	○
	隠岐	ブリ、カサゴ・メバル類	27 トン	72%	69%	30kg	84%	89%	○

平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下  
 大型定置網漁業は 1 統当り漁獲量です。